

プログラム 11月11日(日)

▶ **A** 会場 (島根県民会館 1F 中ホール)

8:00~8:50 モーニングセミナー 1 「Psoriasis & Antihistamines for Allergy」

座長：佐山 浩二(愛媛大)  
成澤 寛(佐賀大)

- MS1-1 皮膚科医がみる PsA  
鶴田 紀子  
佐賀大
- MS1-2 抗ヒスタミン薬の新規作用の拡がり  
戸倉 新樹  
浜松医大

共催：田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

9:00~10:00 特別講演

座長：島田 眞路(山梨大学長)

- SL 強皮症病態の新しい考え方  
佐藤 伸一  
東京大

10:05~11:35 スポンサーシンポジウム 5 「乾癬治療スキルアップ」

座長：清島 真理子(岐阜大)  
小林 里美(聖母病院)

- SSY5-1 生物学的製剤に頼らない乾癬治療  
西田 絵美  
名古屋市立大
- SSY5-2 生物学的製剤による治療のコツ  
多田 弥生  
帝京大
- SSY5-3 乾癬治療の期待と展望  
山口 由衣  
横浜市立大

共催：マルホ株式会社/ノバルティス ファーマ株式会社

11:40~12:30 プレランチョンセミナー 1 「よく見える よくわかる 爪白癬外用治療」

座長：西本 勝太郎(長崎掖済会病院)  
田中 勝(東京女子医大東医療センター)

Pre-LS1-1 爪白癬の治癒を目指した積極的外用治療

齋藤 昌孝  
慶應義塾大

Pre-LS1-2 ヒト皮膚糸状菌感染症のかたち

山元 修  
鳥取大

共催：株式会社ポーラファルマ

12:40~13:40 ランチョンセミナー 6  
「効果と利便性の両面から考える尋常性乾癬治療の外用療法」

座長：飯塚 一(札幌乾癬研究所)  
金蔵 拓郎(鹿児島大)

LS6-1 開業医が対峙する既存治療抵抗性の難治性皮膚

日野 亮介  
日野皮フ科医院 福岡県福津市

LS6-2 乾癬は外用療法も進歩している

常深 祐一郎  
東京女子医大

共催：レオ ファーマ株式会社/協和発酵キリン株式会社

13:50~14:50 教育講演 3 「アレルギー」

座長：窪田 泰夫(香川大)  
成澤 寛(佐賀大)

EL3-1 皮膚バリア機能異常とアレルギーマーチ

松本 健治  
国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部

EL3-2 食物アレルギー最新の話（経皮感作も含めて）

矢上 晶子  
藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科

14:55~15:40 一般演題 14 「蕁麻疹 II」

座長：平郡 隆明(県立広島病院)  
辻野 佳雄(島根県立中央病院)

103 O-103 新規魚アレルギー Myosin heavy chain の同定

柴田 夕夏<sup>1</sup>、世良田 聡<sup>2</sup>、大湖 健太郎<sup>1</sup>、仲 哲治<sup>2</sup>、佐野 栄紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>高知大、<sup>2</sup>高知大附属病院免疫難病センター

- 104 O-104 UVB が作用波長で眼瞼結膜充血を伴った日光蕁麻疹  
(P-101) 上津 直子、野村 祐輝、榎村 馨、岡本 祐之  
関西医大
- 105 O-105 C1-インヒビター製剤の早期投与により重篤な発作出現を制御した遺伝性血管性浮腫の 1 例  
(P-102) 齋藤 怜、岩本 和真、秀 道広  
広島大
- 106 O-106 ソメイヨシノによるアレルギーと抗原蛋白質の解析  
(P-103) 光井 聖子<sup>1</sup>、白築 理恵<sup>2</sup>、神谷 浩二<sup>3</sup>、千貫 祐子<sup>2</sup>、森田 栄伸<sup>2</sup>、森実 真<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>笠岡市立市民病院、<sup>2</sup>島根大、<sup>3</sup>自治医大、<sup>4</sup>岡山大
- 107 O-107 日本のエビアレルギー患者におけるトロポミオシンの抗原性解析  
(P-104) ツェンドルジ オノン<sup>1</sup>、千貫 祐子<sup>1</sup>、上田 清江<sup>1</sup>、河野 邦江<sup>1</sup>、足立 厚子<sup>2</sup>、森田 栄伸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>島根大、<sup>2</sup>兵庫県立加古川医療センター
- 108 O-108 Relationships between opioids and pruritus in liver disease patients  
Catharina Sagita Moniaga<sup>1</sup>、Mitsutoshi Tominaga<sup>1</sup>、Tsuneo Kitamura<sup>2</sup>、  
Shiho Iwamoto<sup>1,2</sup>、Yasushi Suga<sup>3</sup>、Kenji Takamori<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>Institute for Environmental and Gender-Specific Medicine Graduate School of Medicine Juntendo University、<sup>2</sup>Department of Gastroenterology, Juntendo University Urayasu Hospital、  
<sup>3</sup>Department of Dermatology, Juntendo University Urayasu Hospital

15:40~15:45 閉会式・次期会長挨拶

## ▶ B 会場 (島根県民会館 3F 大会議室)

8:00~8:50 モーニングセミナー 2

座長：為政 大幾(大阪国際がんセンター)

MS2 メルケル細胞癌における新規薬剤アベルマブの臨床的意義と治療上の留意点  
山崎 直也  
国立がん研究センター中央病院

共催：ファイザー株式会社/メルクセローノ株式会社

10:05~11:35 病理シンポジウム

座長：山元 修(鳥取大)

病理 SY-1 むき出しの皮膚には、内部臓器とは違う病理が起きている (はずだ)  
今山 修平  
今山修平クリニック&ラボ

病理 SY-2 病理発想の転換：メルケル細胞癌の新展開  
林 一彦  
鳥取大分子病理学分野

病理 SY-3 病理発想の転換：ここまで変わった皮膚軟部悪性腫瘍診断  
久岡 正典  
産業医大第1病理学

11:40~12:30 プレランチョンセミナー 2  
「帯状疱疹の新しいはなし～足ることをしることこそが、幸福である～」

座長：今福 信一(福岡大)  
渡辺 大輔(愛知医大)

Pre-LS2-1 帯状疱疹の診断、治療、予防の新展開  
安元 慎一郎  
安元ひふ科クリニック 福岡県筑紫野市

Pre-LS2-2 開業医の立場から考える帯状疱疹治療の第一選択薬は？  
岩崎 泰政  
岩崎皮ふ科・形成外科 広島県福山市

共催：マルホ株式会社

12:40~13:40 ランチョンセミナー 7  
「特発性の慢性蕁麻疹治療に抗 IgE 抗体製剤をどう使いこなすか」

座長：五十嵐 敦之(NTT 東日本関東病院)  
高森 建二(順天堂大附属浦安病院)

LS7-1 蕁麻疹の病態・治療アップデート～蕁麻疹診療ガイドラインの改訂ポイントを含めて～  
中原 剛士  
九州大

LS7-2 難治性蕁麻疹に挑む一オマリズマブの保険適用から見てきたことー  
千貫 祐子  
島根大

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:50~15:10 一般演題 15 「メラノーマ」

座長：加持 達弥(岡山大)  
河合 幹雄(広島大)

109 O-109 乳癌を契機として診断された重複癌を伴う色素性乾皮症の 1 例  
本田 聡子<sup>1</sup>、増地 裕<sup>1</sup>、小寺 正人<sup>2</sup>、小林 計太<sup>3</sup>、小野 竜輔<sup>4</sup>、錦織 千佳子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>鳥取市立病院、<sup>2</sup>鳥取市立病院外科、<sup>3</sup>鳥取市立病院病理診断科・臨床検査科、<sup>4</sup>神戸大

110 O-110 臨床と病理所見に乖離が見られた keratotic malignant melanoma  
金子 高英、福井 智久、相樂 千尋、滝吉 典子、中野 創、澤村 大輔  
弘前大

111 O-111 イピリムマブ・低線量放射線併用療法が有効であった抗 PD-1 抗体抵抗性根治切除不能悪性黒色腫の 2 例  
天貝 諒、藤村 卓、神林 由美、佐藤 遥太、谷田 佳世、遠野 久幸、橋本 彰、相場 節也  
東北大

- 112 O-112 Pembrolizumab 治療中に全身の白斑と後部ぶどう膜炎を生じた転移性悪性黒色腫の 1 例  
(P-107) 吉田 諭<sup>1</sup>、宇都宮 亮<sup>1</sup>、西原 克彦<sup>1</sup>、白石 研<sup>1</sup>、森 秀樹<sup>1</sup>、水戸 毅<sup>2</sup>、佐山 浩二<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>愛媛大、<sup>2</sup>愛媛大眼科
- 113 O-113 当院における高齢者の悪性黒色腫の臨床的検討  
(P-108) 片山 絢子、吉岡 はるな、岡田 悦子、中村 元信  
産業医大
- 114 O-114 Nivolumab 投与終了後の BRAF 阻害薬・MEK 阻害薬併用療法により難治性発熱を  
(P-109) 来した悪性黒色腫の 1 例  
永井 幸司郎、前田 拓哉、大阿久 聡恵、加藤 めぐみ、日浦 梓、吉野 公二  
がん・感染症センター都立駒込病院
- 115 O-115 当科において nivolumab 投与後に抗腫瘍効果が持続している症例に関する検討  
(P-110) 前田 拓哉、大阿久 聡恵、加藤 めぐみ、永井 幸司郎、日浦 梓、吉野 公二  
がん・感染症センター都立駒込病院
- 116 O-116 BRAF+MEK 阻害薬投与後早期中止にて完全寛解を維持している転移性悪性黒色腫の 1 例  
齋藤 晋太郎、中村 泰大、寺本 由紀子、浅見 友梨、松谷 泰祐、山本 明史  
埼玉医大国際医療センター
- 117 O-117 東京医科歯科大学皮膚科における Mucosal melanoma 10 例の検討  
大槻 友紀、並木 剛、横関 博雄  
東京医科歯科大
- 118 O-118 ニボルマブが著効した悪性黒色腫 in-transit 転移における腫瘍浸潤リンパ球の解析  
神野 泰輔<sup>1</sup>、山崎 修<sup>1</sup>、眞部 恵子<sup>1,2</sup>、三宅 智子<sup>1</sup>、中川 裕貴<sup>1</sup>、森実 真<sup>1</sup>、岩月 啓氏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大、<sup>2</sup>国立病院機構岡山医療センター
- 119 O-119 末梢血好酸球率は悪性黒色腫患者に対するニボルマブの効果を予測しうる  
(P-111) 小松 貴義、石田 雄大、中嶋 千紗、大塚 篤司、椛島 健治  
京都大

## ▶ C 会場 (島根県民会館 2F 第 1 多目的ホール)

### 8:00~8:50 モーニングセミナー 3 「アトピー性皮膚炎 up date~病態から治療まで~」

座長：竹原 和彦(金沢大)  
横関 博雄(東京医科歯科大)

MS3-1 最近の知見から考えるアトピー性皮膚炎の病態  
猪又 直子  
横浜市立大

MS3-2 アトピー性皮膚炎における抗炎症外用薬の効果的な使い方  
田中 暁生  
広島大

共催：鳥居薬品株式会社

10:10~11:10 一般演題 12 「肉芽腫、他」

座長：山田 七子(鳥取大)  
牧野 貴充(熊本大)

- 11月11日(日)  
プログラム
- [85] O-85 るいそうの男性に合併した多発巨大痛風結節の1例  
増田 亜希子、河津 宗太郎、原田 佳代、占部 和敬  
九州医療センター
- [86] O-86 禿頭を呈するくる病患者に生じた多発性嚢腫の1例  
(P-88) 宮本 千暁、山崎 佳那子、村尾 和俊、久保 宜明  
徳島大
- [87] O-87 著明な色素沈着を伴った脛骨前粘液水腫  
(P-89) 堀田 萌子、野村 友希子  
KKR札幌医療センター
- [88] O-88 2歳児に発症した顔面播種状粟粒性狼瘡の1例  
石田 倫子<sup>1</sup>、宮崎 玲子<sup>1</sup>、中原 真希子<sup>1</sup>、古江 増隆<sup>1</sup>、桐生 美磨<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>九州大、<sup>2</sup>福岡皮膚病理診断研究所
- [89] O-89 小児の汎発型環状肉芽腫の1例  
馬場 淳徳、畠中 美帆、藤井 一恭、東 裕子、金蔵 拓郎  
鹿児島大
- [90] O-90 さまざまな皮下異物症例の治療経験  
(P-90) 高塚 純子、竹本 恵太、結城 大介、竹之内 辰也  
新潟県立がんセンター
- [91] O-91 キャッスルマン病に合併した汎発性環状肉芽腫と考えた1例  
檜野 かおり<sup>1</sup>、水戸川 剛秀<sup>2</sup>、松橋 佳子<sup>3</sup>、能宗 紀雄<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>尾道市立市民病院、<sup>2</sup>尾道市立市民病院内科、<sup>3</sup>川崎医大血液内科、  
<sup>4</sup>能宗クリニック 広島県尾道市
- [92] O-92 演題取下げ
- [93] O-93 汎発性穿孔性環状肉芽腫の1例  
(P-92) 一木 稔生、山田 七子、山元 修  
鳥取大

11:40~12:30 プレランチョンセミナー 3 「皮膚科医が知っておくべき眼の疾患」

座長：高村 悦子(東京女子医大眼科)  
海老原 伸行(順天堂大浦安病院眼科)

Pre-LS3-1 アレルギー性結膜疾患：診療と研究の最前線  
福田 憲  
高知大眼科

Pre-LS3-2 眼瞼炎の診かた考えかた  
庄司 純  
日本大眼科

共催：千寿製薬株式会社

12:40~13:40 ランチョンセミナー 8  
「私が TNF $\alpha$  阻害薬を使わない理由 vs 私が TNF $\alpha$  阻害薬を使う理由」

座長：川田 暁(近畿大)  
佐野 栄紀(高知大)

LS8-1 私が TNF $\alpha$  阻害薬を使わない理由  
林 宏明  
川崎医大

LS8-2 私が TNF $\alpha$  阻害薬を使う理由  
鎌田 昌洋  
帝京大

共催：エーザイ株式会社/アッヴィ合同会社

14:10~16:10 皮膚科スペシャリティーナース講習会 (ビデオ講義)

第 117 回日本皮膚科学会総会 (2018 年 6 月、広島) で開催された  
皮膚科スペシャリティーナース講習会の内容を上映いたします。

▶ **D** 会場 (島根県民会館 2F 第 2 多目的ホール)

8:00~8:50 モーニングセミナー 4  
「悪性黒色腫の治療最新アップデート  
(免疫チェックポイント阻害剤を中心に)」

座長：吉田 雄一(鳥取大)

MS4-1 メラノーマ治療 UP TO DATE  
福島 聡  
熊本大

MS4-2 切除不能メラノーマ治療の実際と副作用マネジメント  
田中 了  
川崎医大

共催：MSD 株式会社

10:10~11:15 一般演題 13 「リンパ腫」

座長：藤井 一恭(鹿児島大)  
 鋤塚 大(長崎大)

- 11月11日(日)  
 プログラム
- 94 O-94 メルケル細胞癌との鑑別を要した多発性骨髄腫の1例  
 (P-93) 岩永 聡<sup>1</sup>、鋤塚 大<sup>1</sup>、清原 龍士<sup>1</sup>、松下 泰三<sup>2</sup>、室田 浩之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長崎大、<sup>2</sup>松下ひふ科医院 長崎県島原市
  - 95 O-95 小腸イレウス、腸管穿孔を起こした菌状息肉症の1例  
 中田 侑宏<sup>1</sup>、管 析<sup>1</sup>、岡 謙太<sup>1</sup>、淡路 健太郎<sup>1</sup>、久住 藍<sup>1</sup>、岡 知徳<sup>1</sup>、三枝 良輔<sup>1</sup>、  
 宮垣 朝光<sup>1</sup>、菅谷 誠<sup>2</sup>、佐藤 伸一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京大、<sup>2</sup>国際医療福祉大
  - 96 O-96 深在性エリテマトーデスとして経過観察されていた皮膚脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫  
 (SPTCL) の1例  
 川邊 瑠璃子、井川 徹也、渡邊 裕介、鈴木 大介  
 JCHO東京新宿メディカルセンター
  - 97 O-97 Intravascular Large B Cell Lymphoma 疑診例に対して実施したランダム皮膚生検の検討  
 (P-94) 畠中 美帆、藤井 一恭、東 裕子、金蔵 拓郎  
 鹿児島大
  - 98 O-98 原発性皮膚 CD4 陽性小・中細胞型 T 細胞リンパ腫の1例  
 (P-96) 中條 聡美、伊藤 宗成、松尾 陽香、清水 香、延山 嘉眞、朝比奈 昭彦  
 東京慈恵会医大
  - 99 O-99 芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍 (BPDCN) の5例  
 (P-97) 川平 尚生、大久保 葵、野元 裕輔、松岡 温子、地村 望、勝江 浩未、馬場 淳徳、  
 馬場 直子、西馬場 理恵、多田 浩一、内田 洋平、藤井 一恭、東 裕子、金蔵 拓郎  
 鹿児島大
  - 100 O-100 multiple cutaneous reticulohistiocytomas の1例  
 (P-99) 中島 里穂、辻 由貴子、青木 奈津子、志賀 建夫、山本 真有子、佐野 栄紀  
 高知大
  - 101 O-101 全身に皮下結節を呈したメトトレキサート関連リンパ増殖疾患の1例  
 (P-100) 森坂 広行<sup>1</sup>、岡崎 沙麗<sup>1</sup>、大澤 梨佐<sup>1</sup>、志賀 建夫<sup>2</sup>、中島 英貴<sup>1</sup>、森 正和<sup>3</sup>、富田 理生<sup>4</sup>、  
 佐野 栄紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>高知大、<sup>2</sup>くぼかわ病院 高知県高岡郡、<sup>3</sup>高知大第三内科、<sup>4</sup>高知大歯科口腔外科
  - 102 O-102 3か所の汗孔腫が先行し、その2年後に慢性骨髄単球性白血病を発症した症例  
 岡林 綾<sup>1</sup>、亀井 千紗都<sup>1</sup>、東田 理恵<sup>1</sup>、清水 奈美<sup>1</sup>、中川 浩一<sup>1</sup>、窪田 剛<sup>2</sup>、清原 隆宏<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>富田林病院、<sup>2</sup>富田林病院内科、<sup>3</sup>関西医大総合医療センター



11:40~12:30 プレランチョンセミナー 4  
「乾癬治療に対する内服療法の過去・現状・未来」

座長：下村 裕(山口大)  
青山 裕美(川崎医大)

Pre-LS4-1 PDE4 阻害薬登場以降の乾癬治療  
馬淵 智生  
東海大

Pre-LS4-2 アプレミラストは長期的基本治療となり得るか  
猿渡 浩  
猿渡ひふ科クリニック 鹿児島県鹿児島市

共催：セルジーン株式会社

12:40~13:40 ランチョンセミナー 9 「皮膚 T 細胞性リンパ腫の治療戦略」

座長：岩月 啓氏(岡山大名誉教授)  
尹 浩信(熊本大)

LS9-1 皮膚 T 細胞性リンパ腫治療におけるベキサロテンの役割  
藤村 卓  
東北大

LS9-2 皮膚 T 細胞性リンパ腫に対するベキサロテンと光線療法の併用療法  
—その有効性と安全性について—  
森田 明理  
名古屋市立大

共催：株式会社ミノファーゲン製薬

13:50~14:50 日本皮膚科学会専門医指導医講習会

座長：佐山 浩二(愛媛大)

指導医 新専門医制度と指導医  
石河 晃  
東邦大

第 117 回日本皮膚科学会総会 (2018 年 6 月・広島) で開催された  
内容の一部を上映いたします。

14:55~15:30 一般演題 16 「乾癬」

座長：杉田 和成(鳥取大)  
山口 道也(山口大)

- 11月11日(日)  
プログラム
- 120 O-120 セクキヌマブによる乾癬病変部皮膚浸潤 Th17 細胞の抑制効果  
(P-114) 藤山 俊晴<sup>1</sup>、馬屋原 孝恒<sup>1</sup>、島内 隆寿<sup>1</sup>、栗原 和生<sup>1</sup>、八木 宏明<sup>2</sup>、橋爪 秀夫<sup>3</sup>、  
伊藤 泰介<sup>1</sup>、戸倉 新樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>浜松医大、<sup>2</sup>静岡県立総合病院、<sup>3</sup>市立島田市民病院
- 121 O-121 アプレミラスト 12 例の使用経験  
井上 かほる、吉岡 勇輔、渡邊 京子  
湘南藤沢徳州会病院
- 122 O-122 ビタミン A 剤内服療法が有効であった小児の毛孔性紅色糠疹の 1 例  
馬場 裕子、八代 聖、河原 由恵  
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
- 123 O-123 膿痂疹の合併により皮疹の増悪がみられた尋常性乾癬の 1 例  
鶴町 宗大、根木 治、木村 有太子、高森 建二、須賀 康  
順天堂大浦安病院
- 124 O-124 間質性肺炎を合併した乾癬性関節炎にセクキヌマブを投与した 1 例  
(P-115) 山口 道也<sup>1</sup>、平野 杏奈<sup>1</sup>、安野 秀一郎<sup>1</sup>、大石 景士<sup>2</sup>、松永 和人<sup>2</sup>、下村 裕<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山口大、<sup>2</sup>山口大呼吸器・感染症内科

▶ E 会場 (島根県民会館 3F 303 会議室)

9:00~11:30 国際薬疹シンポジウム 2018 セッション V&VI

※国際薬疹シンポジウムの抄録は、別冊の iSCAR Abstract Book をご参照ください。

13:50~15:50 薬疹講習会